



令和6年度文化芸術振興費補助金  
(文化観光拠点施設を中核とした地域における文化観光推進事業)



# 世界遺産登録10周年記念

企画展

## 「シルクカントリーぐんま」

～「機(はた)の音、製糸の煙、桑の海」(徳富蘆花の随筆「上州の山」)～



(画像提供:桐生市)

令和6年9月10日(火) ▶▶▶ 10月2日(水)

**会場** 富岡製糸場 西置繭所 多目的ホール

**開場時間** 9時～17時(最終入場は16時30分)

**入場料** 観覧には富岡製糸場の見学料が必要 ※富岡市民は無料

### 主な展示内容

- ・ぐんま絹遺産  
「シルクカントリーぐんま」に残る数多くの絹遺産や絹文化等
- ・世界遺産「富岡製糸場と絹産業遺産群」  
4つの資産の価値や果たした役割
- ・日本遺産「かかあ天下ーぐんまの絹物語ー」  
家族と地域を支えてきた女性「かかあ」の活躍

### 交通のご案内

- 電車等: 上信電鉄上州富岡駅から  
徒歩15分
- 乗用車: 上信自動車道富岡IC下車、  
各駐車場まで約10分(3km)  
駐車場より徒歩約10分(500m)



お問い合わせ先: 群馬県 地域創生部 文化振興課 TEL:027-226-2326 E-mail: bunshinka@pref.gunma.lg.jp

# ぐんま絹遺産

群馬県は、江戸時代の中頃から養蚕・製糸・絹織物などの絹産業が盛んで、明治時代になると養蚕製糸の研究や改良が数多く行われました。また、機械を利用した高級織物の生産や輸出用の絹織物の開発が行われ、絹産業の先進地帯として日本をリードしました。

現在でも養蚕・製糸・織物業が脈々と受け継がれ、県内各地に絹に関する遺産や文化が残されています。

群馬県内に残る絹遺産を守り、地域振興、文化観光に活用しようとする仕組みが「ぐんま絹遺産」の制度です。世界遺産「富岡製糸場と絹産業遺産群」、日本遺産「かかあ天下一ぐんまの絹物語ー」は、ぐんま絹遺産の代表的な存在です。

絹産業に関わる建造物や民俗芸能、関係資料を展示した施設など106件が「ぐんま絹遺産」として登録されています。



薄根の大クワ(沼田市)



下南室太々御神楽の養蚕の舞(渋川市)



旧碓氷社本社事務所(安中市)

## 世界遺産とは

ユネスコ(国際連合教育科学文化機関)がつくる世界遺産リストに登録された、国や民俗を超えて共有すべき「顕著で普遍的な価値」をもつ人類共有の財産です。

世界遺産には、文化遺産(城や神殿、景観など)、自然遺産(山、渓谷など)、複合遺産(文化と自然両方にあてはまる遺産)があります。「富岡製糸場と絹産業遺産群」は、文化遺産として世界遺産に登録されています。



富岡製糸場(富岡市)

## 日本遺産とは

「日本遺産」は、地域の歴史的魅力や特色を通じて我が国の文化・伝統を語るストーリーを「日本遺産」として文化庁が認定するものです。

ストーリーを語る上で欠かせない魅力溢れる有形や無形の様々な文化財群を、地域が主体となって総合的に整備・活用し、国内だけでなく海外へも戦略的に発信していくことにより、地域の活性化を図ることを目的としています。

群馬県の絹産業を紹介する「かかあ天下一ぐんまの絹物語ー」が日本遺産に認定されています。



桐生市桐生新町重要伝統的建造物群保存地区(桐生市)